



肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりましたね。

*どんな時でもあなたの味方

子どもの基本的安全感を育てるために、おとなはことばと表情と態度で「あなたはあなたであっていい。あなたはかけがえのない存在」ということを伝えることが重要だと言いました。

態度で伝えるということの一つは、「どんな時でもあなたの味方だよ。どんなことがあっても、私はあなたの親であることから逃げないよ」という姿勢を子どもに示していくことだと思っています。

たとえば、お友だちにちょっといじめられると、打ちのめされたような思いで帰ってくる子どもがいます。客観的にみると「そんなことぐらいで何よ」と思うような場合でも、子どもは、「ヤラレタ。モウ、アノ子トハ遊ハナイ」と言うことがあります。そんな時、おとなは歯がゆく感じて、「何を言っているの。そんなこと言ったらだめよ。誰とでも仲良くするのよ」と説教したり、「やられたら、やり返しなさいよ」と焚きつけたりしがちです。そう言われると、子どもは自分が否定されたような気持ちになってしまいます。受け止められた感じがしないのです。「オ母サンモ、ヤッパリ僕（私）ノ味方デハナイ」「ヤッパリ、僕（私）ノコト、ワカッテクレナイ」というふうに思ってしまうのです。子どもが辛いと思っているのであれば、それが客観的にはたいしたことのように思えなくても、まず「つらかったんだね」と受けとめることが大切なのではないでしょうか。

〈略〉よく「これぐらい、やり返してこい」とけしかけることがあります。けれど、やり返すことのできる子どもは、言われる前にやり返しているでしょう。やり返すことができないから辛いのです。「やり返さないあなたは弱虫」とでも言うようにハッパをかけられると、子どもはもっとつらくなってしまいます。

あるお母さんは、いじめられたと泣いている子どもに、「お母さんに出てきて欲しいと思

った時は、いつでもそう言ったらいいんだよ」と言ったそうです。本当は、こんな些細なことで出て行きたくないと思っていたそうですが、そう言うと子どもは「ウン」と言ってがんばって乗り越えていったそうです。

子どもにとって、「いつでもあなたの味方なんだよ」ときちんと表現することが大事だと思います。時には、子どもが悪いことをして、他人に謝らなければならないこともあるかもしれません。そんな時でも、子どもと一緒に泥をかぶる覚悟が、おとなには必要なのではないのでしょうか。

引用文献「小学校までにつけておきたい力と学童期への見通し」丸山 美和子著

～次回のめだか教室～

めだか①…1月9日(火) 9:20~11:15

→のりものあそびをします

めだか②…1月23日(火) 9:20~11:15

→のりものあそびをします

◎持って来るもの

水筒・シューズ

『参加される皆様へ』 ~ご協力をお願いします~

- お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- 参加費は無料です。(おたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため) 制作や、クッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡いたします
- 活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- 水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えてください)
- きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください

【感染症対策について】(※国の方針に準じて対策を見直しています)

- 参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々 of 感染状況をみて着用をお願いする場合があります
- 原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてきましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談ください
- 入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
- 園内の換気や消毒は引き続き続けます